

今号のわだい

- 【1面】第42回女性集会in福島
 【2面】女性集会分科会
 参加者インタビュー
 【3面】厚労省交渉・看護協会懇談

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
 厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>



アーサー・ビナード氏、紙芝居への情熱を熱弁

メディアとしての紙芝居との出会い

私は紙芝居と言うものを知らずに育ち、22歳の時に日本語に興味をもって英文学論を専攻し詩を書いていました。道を踏み外して日本へ来てこんな人生になったんですが（会場笑い）。23歳の時にこども限定のイベントで紙芝居と出会い、感動しました。紙芝

アーサー・ビナードさん 政府やメディア・マスコミから隠された真実を見つづける力を

7月5〜6日、福島県スバリゾートハワイアンズで全厚労第42回女性集会を開催し、14県85名が参加しました。3年ぶりの単独開催となった今集会では、記念講演を詩人・平和活動家のアーサー・ビナードさんに依頼。また、特別報告として東日本大震災から8年が経過した福島県の現状を、『こどもたちが安心して生活できる福島に』と題して、いわき市民訴訟原告団・事務局員の島田栄二郎さんをお願いしました。（以下講演より）

全厚労第42回女性集会in福島

働き続けるためにみんなで考える健康。いのち。輝ける自分

居について調べると日本だけにしかない物だとわかり、いつか自分で作りたいと思い、やっと完成しました。紙芝居はメディアです。パソコンやスマホ、テレビと共通点はありますが少し違うんです（紙芝居を実演『ちっちゃい声』童心社）。

今の日本では紙芝居は終わったメディアとして扱われているのでショックでした。紙芝居は終わっていると思う？

（参加者）「まだ終わっていないと思う」

「まだ」と言うのが終わっていると言う表現だね。まだおいしいちゃん生きている？みたいだね。（会場笑い）スマホと紙芝居は何が違うと思う？

（参）「アナログとデジタルですかね」

決定的に違うところとして紙芝居はハード（枠）にソフ

ト（絵）を差し込めばすぐに立ち上がりま（笑い）。関電・東電にも世話にならずにできるんです。自由度の高いメディアなんです。

情報操作に騙されない本物を見極めよう

アナログデジタルの違いは何ですか？

（参）「アナログは古いもので、デジタルは新しいもの」

まったく皆さんメディアに騙されていますね。アナログは繋がり（連続性）があるもので作った偽物で、デジタルは全く別物（数字）に置き換えて作った偽物なんです。アナログな蓄音機などが出来る前は生演奏（本物）だったんです。

私は「本物」が好きです。紙芝居はどっちなのでしょう？感触があるのでアナログ

っぱいですが、印刷は最新のデジタル技術を使っているんです。でも実はどっちでもないんです。紙芝居は微妙に本物なんです。一人の人間が加わらないと成立しないんです。人が係わるから印象が強烈で、大きな変化を起こす可能性を秘めているんです。

日本では昔メディア戦略として国策紙芝居を作った軍が利用していたんです。GHQも注目し、日本で影響力のあるメディアとして報告書も上がるくらいでしたが、テレビ

（当時は電気紙芝居と言っていた）が始まると紙芝居は暇になったんです。しかし、これからも色々な人が色々な方法で作って、こどもたちが夢中になれば、再度注目されると思っています。

戦争の犠牲者はいつも私たち庶民

私はアメリカに生まれ育ちました。アメリカでは「原爆は正しかった」「原爆があつたから戦争が早く終わった」と教育されていました。日本

の戦争体験者に色々話を聞いて、アメリカでは聞いたことがなかった東京大空襲の事を知りました。東京大空襲で死んだ人は、広島・長崎の原



会場でのコミュニケーションも頻繁に

爆で死んだ人の数と同じかまたはそれ以上だと知りました。東京大空襲は大本営に對して効果的な戦略だと思っ

そうですよ。でも東京大空襲は違ったんです。東京の主要部分を避け、下町を狙って行われたんですよ。それをアメリカでは誰も語らないんです。なぜだと思

はなくて、世界を支配するために作られたベテンのカラクリを成立させるために「必要だった」「正しかった」「戦争を終わらせたミラクル兵器だ」と言う物語にしたのです。

これは今の電通や博報堂と同じなんです。アメリカの大手の広告代理店は核兵器開発の戦略の中に入っていて、い

島田栄二郎さん

原発事故は人災 帰還率は未だ低迷のまま



8年経った今でも帰宅困難者のいる現状を報告する島田栄二郎さん

東京電力は「想定外の地震だった。天災だ！」と言っているが、2002年には予測されていた

状況が出ないものは手術するべきではないと言う論文も出ているそうだ。

子供の甲状腺癌が多数見つかったというが、原発事故の影響だと言う意見と、原発事故は関係ないと言う二つの意見が出ている。その理由として甲状腺がんは悪さをしない痛だと言われており、天寿をまっとうされた人でも約30%の人に見つかるらしく、症

非常に低い。帰還率が多い街でも原発処理のために移り住んだ人達が含まれており、若い世帯のほとんどは帰ってき

進んでいるように見えるが、若い世代の帰還率が悪いいため将来が不安です。

学びを職場へ広げて

第42回女性集会・分科会

参加者は1日目全体会後に分科会に分かれ、2日目も引き続き学習やグループワークを行ないました。2日目全体会では各分科会で話された内容の報告が行なわれました。一部紹介します。

第1分科会では、生理休暇が何故取れないのかについて、人員不足や、職場の上司や本人も生理休暇の理解ができていないこと、生理休暇が特別有給休暇でないため取りづらいことなどが挙げられました。解決策として、休みが取れるよう人員確保を第一に進めていくこと、生理休暇を周知徹底し男性スタッフや上司、自分たち自身も理解し普段からコミュニケーションをとって何でも話せるような職場の雰囲気を作っていくこと。母性保護の観点から、自分の体を大切にし休む勇気をもつこと。また組合として、上司から問

題発言があれば注意し、団体交渉で不利益なく生理休暇がとれるよう勝ち取っていくこと、大きな面では「女性が働きやすい環境づくり」を国にも訴えていかななくてはならないのではという報告がありました。

第2分科会では、妊娠出産についての法律の制度を学習し、権利を気兼ねなく使えているか話し合いました。現状として制度をうまく活用できていないところがあり、産後ギリギリまで夜勤をしていたり、男性の育児がとれない、また育休復帰が1年未満と早い、時短勤務していても定時で帰れないことなどが話されました。

第4分科会では介護・認知症患者への対応について話し合われました。初日に介護保険や介護休業法について勉強会を行い、2日目に事例を用いたグループワークを行ないました。自宅に戻りたかった患者さんの事例から、情報を収集し、患者家族や、主治医など病院内でチームの連携を図り、患者さんの希望する「最後の時間」を過ごさせてあげる事が本来の看護に繋がること。多忙の中で全ての患者さんの話を聞き、対応することは難しいが、誰からの情報も漏らさず、誰が見ても分かる記録をとることで患者さんへの適切なケアや、自身自身を守ることに繋がるのではないかとといった報告がありました。

う制度を広めていく事が話されました。

更年期がテーマの第3分科会では、生理休暇や他の休暇についても話し合わせ、多くの病院やスタッフが生理休暇を取れていないことが分かりました。女性が多い職場では、生理休暇だけでなく、更年期障害を発症している世代も無理をして休まず働いていたり、更年期症状と自覚をしていないこともあります。また、分科会では女性だけでなく男性にも更年期があることから、生理休暇のような名称でなく「健康管理休暇」といった男女問わず取れる休暇を推進すること、また体調不良のときは無理をせず休めるような環境づくりをしたい、との報告がありました。



制度について学びながらグループワーク

で帰れないことなどが話されました。各県厚生連が出している次世代育成の取り組みや有給休暇取得の目標などをホームページ等で確認し、行動計画に沿った要求で団交や投書すること、集会で学んだことを職場の勉強会や報告会で発表し皆が働きやすい職場となるよ

参加者インタビュー

女性の権利広めていく



茨城・青山幸恵

分科会では生理休暇と母性保護について話し合いました。正直、自分の職場では生理休暇が取れていなくて、広島や福島からの参加者が「普通に取るものだよ」といったようにお話しされていて、全国で集まると自分のところが当たり前というわけではないのだと知ることができました。母性保護月間の時に、組合役員が率先して生理休暇を取って広めていくことや、生理予定日

日あらかじめ有休を入れておいて生理が来たら生理休暇とするなど、「うちはこちらやるよ」といった話しも聞きました。生理痛など辛い人もいるので、女性の権利として生理休暇があることを知って、自分の病院でも少しずつでも広めていければと思います。分科会では、人員が足りていて有休リフ休など休みが取れるような環境でない、そもそも生理休暇も取れないという話がありました。人を増やす事は個人では難しく、組合で要求をしたり、看護師増員署名の活動などで、国の制度として余裕をもった人員配置にしなければ、休みはいつまでたっても取れないのかなと思います。

権利知らせて使える環境に

高知・濱口愛迪

い現状があるのだと知って衝撃を受けました。育児短時間勤務制度や夜勤免除など、同じグループの広島や岐阜の参加者からはしっかり取れていると聞きました。他の病院では、忙しい病棟だからと我慢をしたり、制度を知らない人も多いのかなと感じます。上司が勧めて、心地よく皆が権利を使える環境になるといいなと思います。

また産休・育休は取れても、産休に入るまでの夜勤免除をしないのには、給与的な面で夜勤がやめられないというのがあります。看護職の夜勤手当は給料のなかで占める割合も大きいので、夜勤をやめるとすごく給料が低くなるし、仕事も忙しく、嫌になってしまふ方もいると思います。女性が無理なく長く働いていける環境を整える為には、制度や法律について組合側から職場に提案できるようにしていきたいと思いました。



(本人：左から2人目)

今回初めて女性集会に参加して、女性の権利はまだ守られていない現状にあるのだと感じました。県や病院によって、法律に則った制度を周知できていなかったり、人員不足で出てい

第3分科会

「更年期」



福島・大和田育子

5年前のスパリゾートハワイアンズ以来の2度目の参加です。分科会では、多分年齢とかを考えて割り振りされたんだと思います(笑)。クッパーマン指数では、ギリギリ更年期には入らないかなという結果でした。

男女問わず「更年期」があつて、何もなくても身体が熱くなつて汗をかいたり、寒くなつたりと誰でもそうなるんだと。話には聞いていたけれど、仕事に行きたくな

みんなで団結して当たり前の権利取得を

いかも、「うつ」ではなくても「更年期」でもそうなるんだと、理解しました。

生理休暇は、病棟では取ろうと思ってもなかなか取れない状況です。人員がギリギリの状態だと、「私が休んだら...」と思ってしまう。生理の酷い人は、這っていても辛いと言います。生理が酷い時に休まないでいると、いざ妊娠した時にも流産リスクが増えたり、結果的に周りに迷惑をかけてしまつたり。時々、頭が痛い時などに仕事をしていると、「私が看護されたいくらいなんだけど...」と思うときもあります。みんなで団結して、安心して当たり前の権利を取得できるようにしていかなければと思いました。

患者・家族、地域などとの連携を

愛知・辻 英晶



現在の診療・介護報酬制度は、かつての「医療の拡充」から「効率性・生産性の高い医療をするべき」という軸に変わっています。その結果、医療機関は質の向上と複雑な制度との間に挟まれて、医療だけを頑張っても経営を黒字化できない仕組みです。さらには、2025年の地域包括ケアシステムの構築に向け、医療需要が大きく変化することが見込まれています。医療提供体制の改革と連携し、地域ごとに適切な医療提供体制の再構築に取り組んでいかなければならない中、厚生連職員として、地域医療を守っていくためには、関わる全ての人との「連携」とそれを正確に共有するための「情報」が改めて重要なものだと思います。ことを再認識させてくれました。

第4分科会

「介護・認知症」

分科会には、様々な職種の参加者がいました。介護保険や介護休業法は制度自体が確立されているものの、その内容を理解すること、活用することには高いハードルがあるのが現状です。では、それらを払拭していくにはどのようにしていったらよいのか。各グループの討論で共有していたのは「連携」というキーワードでした。職員同士だけでなく、患者・患者家族・地域・業者など様々な方と正確な連携を密にすることに、スピード感ある質の高い医療・介護が成立するのではないかと思います。

看護現場の実態理解へ、改善迫る

看護委員会で、厚労省交渉

全厚労は、6月19日、翌日の看護委員会と連動させて、春の厚生労働省交渉を行いました。今回、交渉を委員会の前に設定することで、交渉結果をしっかりと総括し、今後の活動へ活かそうと委員会でも意思統一を行いました。

夜勤は少なく、 間隔は長く

① 法的規制の問題では、「労働時間は、労基法32条で1日8時間が原則」としながらも、変形労働制によって、日を跨ぐ長時間夜勤が可能とされている現状への規制について、厚労省は言及を避けました。

今回、要求書の作成には、事前に看護現場の実態、政府への改善提案を含めた事前アンケートを募り、そこで集約された意見をまとめ、一定の形で「提案型の要求書」としました。

要求・提案の柱は5本で、①夜勤交替制勤務者の「働き方」の法的規制、②看護要員への診療報酬の引き上げと算定要件の見直し、③医療現場における労働安全衛生ハラスメント対策、④特定行為研修制度の抜本的見直し、⑤他職種との連携・強化についてでした。

また厚労省の担当官からは、「むしろ看護職独自の課題として、改善要求を出してもらった方がよいのでは？」との話がされました。こちらからは、「労基法は全ての労働者に関わる規制だからという今までの説明だったので、常日勤者と違う夜勤交替制労働者

全般の規制として訴えてきたが、夜勤がそもそも身体に有害であること、不規則な夜勤交替制であることなど、患者と働く者、両方の命と健康に関わる問題であり、引き続き現場の要求として上げていきたい」と伝えました。

労働行政とマッチする 診療報酬制度に

②の診療報酬問題では、現在の入院基本料は、「医療機能に応じた適正な配置」としつつ、「重症度・看護必要度」も各方面からの意見も踏まえ、改善している、「加算のあり方」も中医協入院医療分科会で検討中、としました。

交渉団からは、「認知症等の増加で、人員配置は限界。事務作業等で、ベッドサイドよりデスクサイドになっている。本来の看護が出来ていない」、「加算と言っても地方の病院で人員不足の中では、なかなか適用できず、ますます格差が広がってしまう」、「一方で年休取得推進しながら、それが診療報酬で担保されなければ、経営者は取得に足踏みしてしまふ。安全・安心の医療・看護のためにも報酬水準を引き上げつつ、法律遵守しないと減算される仕組みなども検討してみたら」と訴えました。

ハラスメント防止対策に担当官も熱意

③の労働安全衛生の課題では、交渉の中で「ノーマーフト」

の必要性は認めつつも、介護現場から医療・看護現場まで対応を広げる姿勢はさほど感じられませんでした。一方、ハラスメント対策については、「女性活躍推進法の一部改正」で、パワハラ防止推進義務が課されていること、行政の窓口も予算の兼ね合いはあるが、充実させていきたい、と担当官の強い意気込みが感じられる対応がありました。

目標達成にほど遠いにも関わらず推進姿勢

④特定行為研修の問題では、

担当官は、厚労省の目標10万人には届かない1%強程度の修了者であるにも関わらず、「カリキュラムの簡潔化」などで、引き続き推進する方向を明言しました。

現場からは、「進んで医行為をしたいと思っている看護師はいない」「研修で人手が抜ければそれだけ現場は大変になる。帰ってきてても活用できる場がない」「万が一、事故が起こった時の責任はどうなるのか」などの不安の声を伝えました。また「ご自身は受講したいか」との交渉団からの質問に、担当官は答えを

濁しつつ、「引き続き目標に向けて環境整備を進めていく。医師の指示や手順書に基づくもので問題はない、心配ない」という立場に終始しました。交渉団からは、改めて「到達状況から見ると目標達成は無理なことは自明。見直しした方がよい」と訴えました。

具体的な提起や現状を伝える事が大切

⑤他職種連携の問題については、「病院薬剤師不足」について、これまでと違って若干、認識の変更が見られ「3

看護の「働くルール」推進、 診療報酬改善へ共同進めよう

日本看護協会と懇談

全厚労看護委員会は、厚労省交渉が終わった後、東京・表参道の日本看護協会本部に向き、協会・看護労働政策部のスタッフと、看護職の働き方や人員配置基準、診療報酬制度などについて意見交換を行いました。

懇談の中で、日本看護協会が強調していたのは、少子高齢化の中でますます医療・看護に携わる人々の育成数が増やせない中で、プ



車座になって懇談。
二番左が日本看護協会の奥村元子さん。

た。「特定行為」問題など、看護協会の方針との相違点はあ

るものの、看護職を代表して審議会等に人を送り出している協会とは、引き続き、積極的な懇談や情報交換を行っていく必要性を看護委員会としても確認しました。

翌日には第3回看護委員会を開催し、3ヵ年計画で取り組んできた「サービス残業撲滅・長時間労働の改善」の課題で議論、時間外申請の適正化や、ICカード管理などの事例が出されるとともに、研修・研究の扱いなどの前進面なども交流しました。

また夜勤日数が増加していることについて、根本問題である人員不足について、会の要員計画と実人員の乖離がどうか、事業計画や事業実績でも確認し、資料化を図っていくこととしました。全厚労としても看護職場改善の好事例を集約し、広めていく活動を強化することを確認しました。

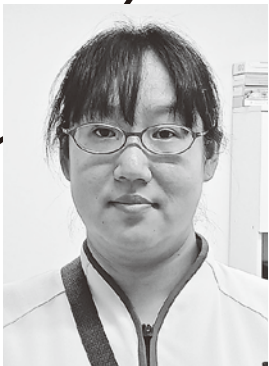


「言いたい劇場」 小菅りや子

少年時代の戦争体験の語り部活動。次世代の子どもたちに伝えていきたい。保育園や小学校の先生も、子どもたちに伝えていきたい。でも、一番聞かせたい場所に行けてなくて。戦争を知らないオッサン・オバサンがいっぱいいる所！

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第142回は埼玉と大分をお願いします。



埼玉 山中良枝さん

埼玉県の熊谷総合病院労働組合から執行委員の山中良枝さんを紹介します。
執行委員としては1年目ですが、パート時代から数えると勤続15年目のベテラン看護助手です。いつも笑顔で優しく、患者さんはもちろん、職員にも信頼されています。
執行委員の活動にも積極的に参加し、楽しく学習しているところです。また、長年の経験と人脈を活かして、その活動を組合員に広めてくれています。
これから一緒に頑張ってくれる、心強い仲間が増えました。応援よろしくお願いします。



大分 丸山健太さん

厚生連に診療放射線技師として就職して3年目になります。愛媛県今治市出身の25歳です。趣味はゲームと外食で、別府にあるお店に関しては放射線科随一のデータバンクです。もしも別府観光をご予定の方は大厚労までご一報いただければ、おススメのお店をご紹介します。また放射線技師としては珍しい逸材でもあります。
放射線技師は「よく遊び、よく呑み、よく遊ぶ♥」と言われる通り、結婚相手としては選びにくい職種として認知されていますが、こと丸山君においてはその要素を何一つ持っておりません。大変真面目で、とても素直な性格です。ここまで純粋な人間を見たことがありません。しかもなんと今流行りの「大分独身男子」の1人でもあります。
ぜひ私色に染め上げたいと花嫁に立候補される方いらっしゃいましたら大厚労組合事務所花嫁窓口までご連絡ください。間違いはありません！
今は青年部役員として活動してくれている丸山君ですが、今後大厚労を牽引してくれることを期待しています!!みなさん、よろしくおねがいします。

読者の声

全厚労にのってる4コマ漫画が面白いのでいつも読みます！次も楽しみます。

(静岡)

いつも全厚労ニュースを読んで下さりありがとうございます!!せわしい毎日の中、ほんの少しでもほっとしていただけると幸いです。

(SN)

第90回メーデーの記事を読みました。働くものの要求は消えることはないと思います。少しでも皆さんの要望が届くことを祈ってます。

少しでもみなさんの声が届くように全厚労ニュースでもアピールしていきたいです。

(SGB)

看護師の9Kというのを本誌で初めて知りました。確かに、と納得します。デモ行進や署名活動など、先輩方の行動で少しずつ勤務体系が良くなっているように思います。今回の紙面を読み、声をあげる事は大事なだと改めて感じました。

(広島)

納得する部分があるにしても、9Kは信じられない表現です。看護職だけ

の問題にせず、全ての職種を含めた病院全体で捉え、みんなで考え行動し改善を勝ち取りましょう！

(YS)

梅雨明け前に30℃を超えたり、昔よりも気象の変化が激しくなった気がします。脱ブラ宣言の様に地球環境についてもっと皆で考える時だと思っています。まずはマイバッグを使う事から始めます。

(長野)

地球環境も組合も次世代のための取り組みが大切です。小さなことでも出来ることから始めましょう。

(KU)

医労連共済の

火災共済

建物だけで 最高4,000万円保障
家財だけで 最高2,000万円保障

●再取得価額保証だから安心です。●火災以外の風水害なども保障。●地震特約もつけられます。
●退職後も継続加入できます。

★契約内容の詳細は、リーフレットをご覧ください。

ご加入のご相談
お問い合わせは 労働組合の共済担当者まで

聞かせて・教えて!のコーナー

☆年間投稿数上位者発表☆

「聞かせて・教えて!」のコーナーが始まってから4年が過ぎました。17年4月～18年3月までの累計投稿上位者は、3名でした!

1位 福島 M・Wさん (10通)
1位 長野 T・Oさん (10通)
1位 長野 K・Kさん (10通)

となりました。上記3名の方には、いつもの景品(少し多め)と素敵なプレゼントを送付させていただきます。

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



クロスワードの投稿もQRコードからできます。
氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。
今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★

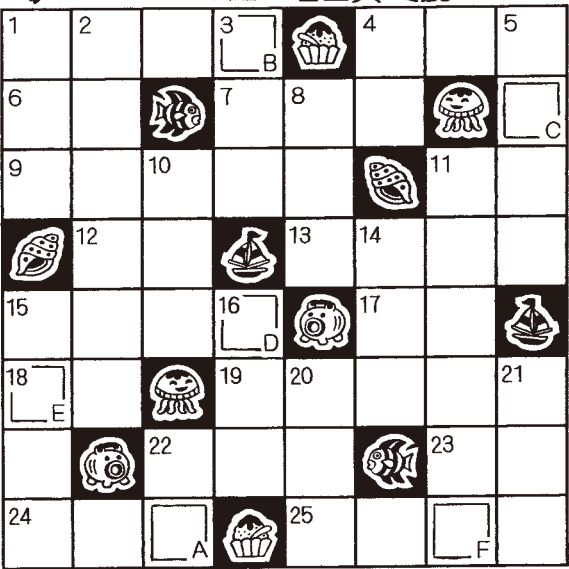
教宣部の つぶやき

以前の教宣部のつぶやきで今年は富士山登頂を目標にしていると記事を書きました。しかし都合が合わず日程の調整ができなくて今年には断念することになりました。今年の楽しみが一つ減ったことはとても残念ですが、これであきらめずに来年こそは富士山に挑戦したいと思います!!(ケガだけはしないように)登山用品だけが増えていく……

(SGB)

ザ★クロスワード

出題▶モロズミ勝



答 A B C D E F

■ヨコのカギ

- 「猿も木から落ちる」などの金言、格言
- 「水母」「海月」って読めますか?
- 講……。議事……
- 七福神が乗る……。船
- 行方をくらますこと
- アマではありません
- 会社名や商品名を図案化した……。マーク
- ひと目でわかる……。表
- ライト兄弟の発明品
- 手術や解剖用の小刀
- 南の国の代表的な樹木
- 地球上すべての国の図
- ウマとサルの間にいる
- 中はカラッポです
- 贈り物。……ショップ
- 関西国際空港の略

当選者(読者の声掲載者含む)10名様に図書(クオ)カードを差し上げます

答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。

当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。5月号の答えは「レインコート」で、当選倍率は3・5倍(クロスワード・聞かせて、読者の声、計10名当選)でした。

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに?

■タテのカギ

- ひとりぼっち。……感
- とうきび。コーン
- 畳にすわって使う机
- 馬の背につける道具
- 個人が言語や文章で思想を発表することのできる……。自由
- ヒラメに似た魚
- 画家や書家の風流な名
- 海汚染の有害化学物質
- 命にかかわる……。傷
- 細打ちのゆでうどんを
- 冷やして食べます
- 春・夏・秋・冬
- 谷川に住む茶色の蛙
- 心配。悩み。……の種
- 天は……。の上に……。を
- つくらず

締め切り:2019年8月末日 消印有効

あて先:〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係